



車内の金城学院大学

85限目

「教育方法論」

「日本の子どもは自分に否定的!？」

〔子どもと文化〕

日本の子どもは諸外国に比べると「自己評価が低い」と言われることがあります。実はこれには日本の独特の文化が関わっていると考えられています。日本人ははっきりものを言わず、会話の文脈や状況により真意を察してもらおうとすることが多く、言葉に表れない文脈への依存度が高いことから日本の社会は「高文脈文化」と言われています。これは、人の気持ちを察しようとする日本人の良いところをつくり上げていますが、他方で常に人の出方を伺うような一面もつくってしまいます。この文化は子どもたちにも影響を与えており、周囲の「ノリ」や「空気」を必要以上に気にし、そこへ自分を合わせるようにして毎日を過ごしているうちに、自己肯定感が弱くなることもあるのです。子どもの育ち方と文化には密接な関係があり、文化の特性がどう影響を与えているかをよく理解し、子どもに向き合うことが重要なのです。

文化を見つめ、子どもの健やかな成長を助ける。それが、人間科学部 現代子ども学科。

強く、優しく。



金城学院大学